

わんにゃん通信 2025.3月号

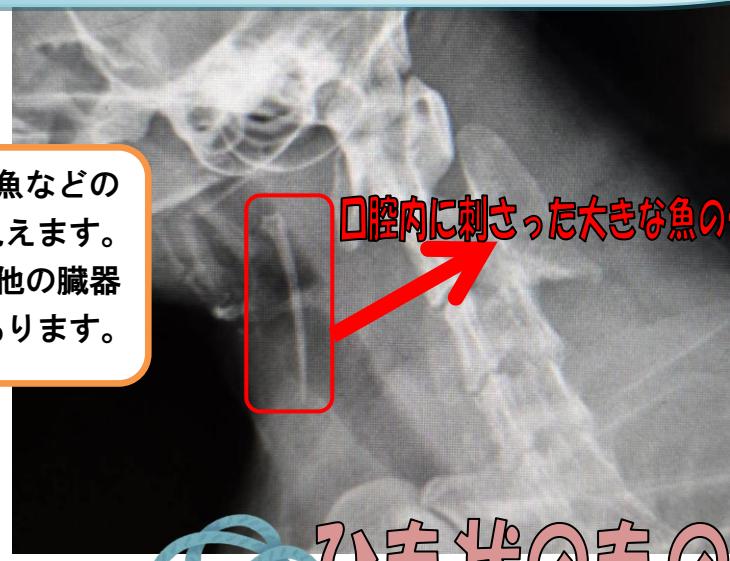
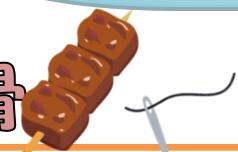
段々と暖かくなってくるとおもいきや、寒さが続いていて朝がとても辛いです…はやくあったかくなれ~と思う今日この頃です。さて今回は、どの子でも起こりえる異物誤飲のお話です。

どの子でも誤飲はあります！

美味しい匂いがついているとそのまま飲み込んでしまったり、おもちゃで遊んでいるとその拍子に飲み込んでしまうことがあります。以下は事例が多かった異物たちです。

竹串・針・骨

美味しい匂いが付いている竹串や糸がついた針・魚などの骨はワンちゃん、猫ちゃんにとって魅力的に見えます。しかし飲み込んでしまうと、消化管を突き破って他の臓器に刺さったり、腹膜炎を起こしたりすることがあります。



胃内で留まるひも状の異物

ひも状のもの

ひも状のものは飲み込んでしまうと胃や腸にひっかかり小腸がアコーディオン状になってしまい腸閉塞になることがあります。

おもちゃ・食べ物

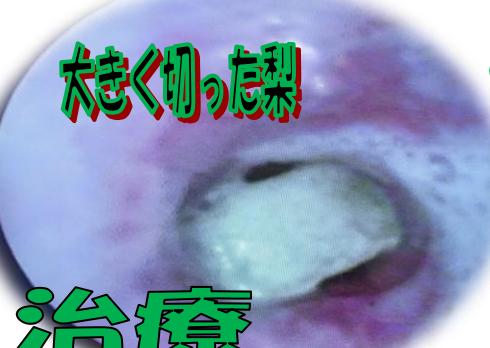
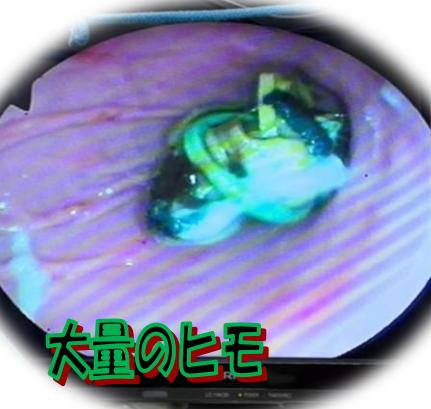
ボールや咥えられるおもちゃ、果物の種や砂肝などの硬い食べ物、大きく切った果物などは食道・小腸内で詰まることがあります。



そんな中で猫ちゃんはジョイントマット・ひも状のものが圧倒的に多く、対してわんちゃんは匂いや味が付いたつまようじ・果物の種多いです！

今までの異物たちの中でびっくりだったのは小型犬の子の腸からオムツがでてきたことです！まさかこれを飲み込むなんて…と予想外のものを飲み込んでしまうこともあります

出てきた異物たち



治療

○ 催吐処置

飲み込んだ直後であれば吐き気を促進させ、飲み込んだものを吐かせる催吐処置を実施することがあります。ただし、嘔吐が起こらないこともありますし、吐いても目的のものが出ないこともあります。

○ 内視鏡手術

食道・胃内に異物が留まっている場合は内視鏡での摘出を実施します。内視鏡での摘出が困難だと判断された場合は外科手術になります。

○ 外科手術

小腸内に異物が留まっている、また食道・胃内に留まっていても内視鏡での摘出が困難と判断された場合は外科手術になります。腸の手術になると壊死した小腸を切除したり、腹膜炎を起こしていた時には腹腔内を洗浄します。

防ぐためには？

- おもちゃで遊ぶ、遊ばせるときは飼い主さんの目の届く場所で
- ガムや砂肝など硬いおやつは細かく切ってあげる
- ゴミ箱は口（手）の届かないところに設置する
- フタつきのゴミ箱にする

etc

頻回の嘔吐や急な食欲の減退などの症状が出る場合はご来院ください。

